

平成24年度第1回奈良市社会教育委員会議会議録

開催日時 平成24年5月24日(木) 午前10時～午前12時

開催場所 奈良市役所 北棟6階 第22会議室

出席者 【委員】天野秀治 委員、上西千秋 委員、岡田善英 委員、
奥田益三 委員、北浦昭夫 委員、北畑 一 委員、
向野幾世 委員、小林 勉 委員、杉峰英憲 委員、
高田郁代 委員、竹内 寛 委員、中 禮子 委員、
中村博子 委員、畑中康宣 委員、森本勝也 委員、
横井雄一 委員
〔 欠席 大坪宏通 委員、谷口早百合 委員、
東出和彦 委員 〕

【事務局】教育長、教育総務部長、学校教育部長、教育総務部次長、
教育総務部参事(中央図書館長)、地域教育課長、
人権政策課長、文化財課長、埋蔵文化財調査センター所長、
スポーツ振興課長、生涯学習財団常務理事、
地域教育課職員(主幹・課長補佐・係長)

案 件 1 正・副会議長の選出について
2 平成24年度社会教育関係事業について
(1) 各担当所管課からの事業説明
(2) 「平成24年度補助金交付社会教育団体」について
(3) 「平成23年度社会教育委員事業実績」について
(4) 「平成24年度社会教育委員事業計画」について
(5) 「平成23年度 提言書」に係る関係各課への
ヒアリング結果について
3 その他

開催形態 公開(傍聴なし)

担当課 教育総務部 地域教育課

- ◎ 開会挨拶及び事務連絡
- ◎ 教育長挨拶
- ◎ 新委員の紹介
- ◎ 事務局職員（教育長及び部課長）の紹介

案 件 1 正・副会議長の選出について

- ・ 杉峰委員が推薦されたことにより、会議長を杉峰英憲 委員に決定し、会議長の就任挨拶。
- ・ 副会議長の選出について、慣例通り2名を会議長一任により選出することを決定し、奥田益三 委員と向野幾世 委員を選出した後、両副会議長の就任挨拶。
- ・ 会議録について、従来どおり要点を記載した会議録の署名委員を決定。
会議録署名委員 森本 勝也 委員 横井 雄一 委員
- ・ 会議の全案件の公開を決定し、傍聴希望者の有無を確認。なお、傍聴希望者なし。

案 件 2 平成24年度社会教育関係事業について

(1) 各担当所管課からの事業説明

- ・ 各担当課より主な事業の概要【資料1】について、奈良市第4次総合計画【資料1-2】との関連を含めた説明があり、以下の質疑が行われた後に承認。
 - ① 地域教育課長
 - ② 人権政策課長
 - ③ 文化財課長
 - ④ 埋蔵文化財調査センター所長
 - ⑤ スポーツ振興課長
 - ⑥ 生涯学習財団 常務理事
 - ⑦ 教育総務部参事（中央図書館長）

【質疑事項】

委員 バンビーホームは、指揮命令系統が非常に曖昧であり、現状では学校長に責任がありません。学校敷地内に施設がある以上、指導員が子どもたちの状況報告を学校長に毎日行うべきであり、体制作りを整えてカリキュラムを作って欲しい。

そして、事故や問題が起こってからでは遅いので、バンビーホーム利用児童の安全確保をしっかりと行っていただきたい。

また、小学校と幼稚園が隣接している地区もあるので、幼稚園の子ども達のバンビーホームの利用も検討いただきたい。

事務局 これまで学校施設内に福祉施設があるという変則的な形で運営され、縦割りの弊害が生じていました。それを連携によって解消するための今回の所管替えになりますので、学校とバンビーホームの情報共有は、お互いの立場を明確にして体制を整えていきます。

また、下校時の安全とカリキュラムにつきましては、ただいま状況調査をしていますので、各施設の違いを見極めた上で運営のシステム作りを行い、安心安全な環境を作りたいと考えています。

委員 現在、各学校にバンビーホームは確実にありますか。また、他校の生徒がそこに通っているという事例はありますか。

事務局 東部山間で未開設の学校があります。それ以外は、学校敷地内あるいは隣接地で運営しています。また、市立小学校の子どもたちは、基本的にはそのバンビーホームに通っています。ただ、私立あるいは国立の子どもたちは、近接のバンビーホームに通っています。また、養護学校からバンビーホームに通っている場合もあります。

委員 そのような全ての方の情報を、学校長が把握するのは難しいと思います。その辺の連携が取れるかが課題だと思います。

会議長 システム的な内容の充実と連携を行い、不備があれば、それを改善充実した形で吸収し、そして発展につなげていくために、もう少し綿密な計画を立案すべきということですのでよろしくお願いします。

委員 東部山間の学校にはバンビーホームがないと聞いています。小規模過ぎることも関係するかもしれませんが、設置基準はありますか。

また、山間地域とはいえ、必ずしも祖父母が同居しているわけではなく、バンビーホームの設置要望が寄せられています。どう考えていますか。

事務局 設置基準は、国の国庫補助の補助基準として、常時登録人数が 10 名以上、あるいは開設日数というのがあります。

そして、未設置のところは、興東小学校・柳生小学校・田原小学校です。この 3 地域は、これまでニーズが大きく出ておりませんでした。現在、それぞれから要望をいただいています。

どれだけニーズがあり、指導員の確保が可能かどうか、地域の特性を考えながら検討し、できるだけ前向きに考えて調査します。

会議長 地域の特性というのは非常に重要なファクターです。福祉と保護者のニーズと子育ての責任、この 3 者の関係は非常に複雑な関係にあるので、その調整を取りながら、システムのにも地域に密着したよりよい形をお願いします。

委員 本校ではバンビーホームを校舎内に開設していますので、できる限りの指導は行っています。これは、バンビーホームの子どもというのではなく、本校の生徒として見えています。

また、指導員の方々は地域の人で、他にも役を持たれているので、色々な形でのつながりができ、連携できる体制はできています。

委員 図書館の蔵書貸出について、インターネットの予約制度では、だいたい月に何人くらいの利用者、何冊の貸出があるのか教えてください。すぐに回答が難しい場合は、後日でも構いません。

事務局 具体的な資料の準備ができていませんので、改めてご報告させていただきます。

会議長 図書館の資料から離れていく人たちが問題になっていますが、その現状と対策をどうお考えですか。

事務局 図書館に直接出向きにくい若い方には、インターネットの利用や予約を、ますます充実していく必要があると考えています。

また、特に開館時間の制限やお勤めの方の利用の時間という部分では、利用の状況を充実させていくことが必要であると考えています。

委員 図書館と公民館は、社会教育の大きなキーステーションですので、レベルアップが必要であると思います。

図書館については、積極的に攻めるような図書館になってほしいと思います。人員構成も、正規職員が少なく司書の資格を持つ職員も少ないように思うので、放送大学等の活用を図り、資格取得やレベルアップを図ってはどうかと思います。

また公民館については、館長ではなく施設管理者になっており、モチベーションも周りの見る目も違ってきます。資格の問題もあるかと思いますが、公民館の責任者は館長としていただきたいです。

委員 芸亭院に関する研修に参加した際に、若い子達が図書館の本を切り抜いたり線を引いたりしていると聞きましたが、最近の図書館のマナーはどうなっているのかと思いました。

事務局 図書館の嘱託職員は司書資格を全員持っていますが、個々のレベルアップはまだ必要であると考えております。積極的に研修等を行って、様々な要望に応えられるようにしていきます。

また、公民館の施設長につきましては、指定管理者の生涯学習財団とともに検討をしているところです。

そして、公共施設の利用者マナーは、多くの皆様が気持ちよく使っていただけるように管理運営してまいりたいと考えています。

事務局 公民館の施設長は、施設の管理だけでなく事業もしていますし、社会教育主事の資格を持った施設長もいます。ただ、一般的にそういった見方もありますので、今後の名称変更は検討していきます。

会議長 スポーツ・レクリエーションに関して、昨年、歩くということをテーマに議論した経緯がありますが、スポーツというのは競技スポーツのみが対象でしょうか。

事務局 策定予定のスポーツ推進計画では、「するスポーツ・見るスポーツ・支えるスポーツ」、あらゆるものを考慮して作っていく方向ですし、体験スポーツや親しむためのものも行っております。

(2)「平成24年度補助金交付社会教育団体」について

事務局 【資料2】には、補助金を交付予定の社会教育団体9団体を示しております。この内、最初の7件は例年の運営補助金です。そして、下段の2件は事業補助金として交付予定をしております。

まず奈良市少年少女合唱団、こちらは隔年で他市を相互訪問して友好親善を図る合同合唱コンサートに対して、2年に1度の事業補助として実施しております。

そして奈良市子ども会育成連絡協議会への事業補助金は、当該団体が創立40周年記念事業を迎えるにあたり、加盟している各子ども会がこの節目を祝い、今後さらに発展するために交付を予定しています。

会議長 補助金の交付は、緊縮財政の中でバランスを見て作られたと思います。特にご意見等がないようですので、この交付予定案どおりで交付いただきます。

(3)「平成23年度社会教育委員事業実績」について

(4)「平成24年度社会教育委員事業計画」について

事務局 【資料3】は、昨年度の社会教育委員の事業実績でございます。昨年度、委員の方々にご参加、または事務局より資料を配布しました各種大会等の資料になります。

【資料4】は、本年度の社会教育委員事業計画になります。詳細な通知が事務局に届き次第、委員の皆様方にご案内の上、ご出欠を確認させていただきます。また、参加希望者が多数の場合は、会議長と調整の上、参加者を決定いたしますので、ご了承ください。

また、奈良県社会教育委員連絡協議会の総会が本日の午後より開催されます。非常に急なお知らせとなりますが、会議長のご都合はいかがでしょうか。

会議長 今日の午後は時間が空いておりますので、私が参加いたします。

(5) 「平成 23 年度 提言書」に係る関係各課へのヒアリング結果について

事務局 【資料 5】は「平成二十三年度 提言書」に係る関係各課に対して、関連事業の現状と課題、そして今後の展開と、大きく三つの内容についてヒアリングを行い、その結果を集約したものです。

各事業によって、提言書の内容を具体的に反映できるものと、そうでないものがございます。これにつきましては、経過を確認しながら報告させていただきます。

会議長 大きく視点を 3 つに分けて、内容を具体的に確認している資料ですし、本年度も小委員会を設置して、提言に向けてご議論いただくのであれば、非常に参考になると思います。

この点について、特にご意見等はございますか。後ほど精査していただくということによろしいでしょうか。

案件 3 その他

会議長 今期の社会教育委員の活動について、何かご意見ご提案、あるいは昨年度の反省点等がありますか。

委員 これまで分科会や提言を行い、多くの項目を取り上げると、それが社会教育基本計画に結びついていくという話もありましたが、今年度も、テーマを決めて提言できるような活動をすればいいと思います。

かつて委員がおっしゃられたように、拍手するだけの会議ではなく、活動する社会教育委員会議であるために、1 つか 2 つでもテーマを決めていけばいいと思います。

会議長 全国の社会教育委員会議の中では、社会教育委員の活動の活性化ということがテーマになっており、色々な議論がされています。

これまでやってきたように、年に何度かの本会議だけでなく、分科会・小委員会を作って、お互いに議論していくことで、社会教育委員としての活性化にも、本会議の充実にもつながっていくと思います。

これまでの経緯としては、2 度ほど提言書を作りまして、まず「成人式」と「地域の活性化」ということで行い、そして昨年度は、「家庭教育」と「健康・スポーツ」を大きな柱としました。そして、それをくくる理念としては「公共」ということでした。

「公共」は古くもあり、新しくもある問題ですが、今回の放課後の子どもの育成についても、この公共という言葉がどういう位置取りをしていくかが、一つの大きな課題ではないかと思えます。

そして、こういった提言を2度ほど行いまして、それについてのヒアリング結果というのは、先ほどご覧になった資料になります。

こういったことをするためには、本会議のワーキンググループとして、少人数の委員会を作って議論し、その結果を本会議に戻して、さらなる議論の積み上げを行いました。

今年も小委員会的なものを作って生産的に議論し、可能であれば提言にまとめるという方向性で、進めていくということによろしいでしょうか。

先ほどのご意見をお伺いしていますと、「放課後子どもプラン」、「図書館・公民館活動」、「スポーツ」というものがありましたが、どのようなテーマがよいか示していただいて、それを小委員会で詰めていくのでよいと思いますが、大きなテーマとして思いつくことがあれば、ご発言をお願いします。

委 員 会議長が言われたようなテーマでいいと思います。

委 員 他市の社会教育基本計画の項目ですが、大きな項目として候補を申し上げます。まずは「人作り」、これは青少年・成人・高齢者といった形で分けて考えていくというのが一つのテーマです。そして、「家庭教育」ですが、こちらは昨年度行いましたので、次に3つ目「条件整備」、これは、いつでも・どこでも・誰もが学べる学習環境をいかに整備充実させていくか、本質的に足りない部分は何かを検証するものです。そして4番目、これは「文化振興」の関係でして、それから5番目として「健康作り・スポーツ」と、大きく分かれていますので、この中から選んでいけばいいと思います。

また、先ほど図書館で貸出冊数が1万冊も減っているということで、これでは総合計画の目標が前を向いていけないので、今年はぜひ図書館を一つのテーマに入れていただきたいと思います。そして、佐賀県の武雄市ではツタヤに指定管理をするなど、図書館関係も非常に大きな動きがありますので、ぜひ検討して提言できればよいと思います。

会 議 長 会議でもご発言ありました「攻め」という言葉にあるように、全国社会教育委員会でも、他市の図書館長が自転車で回るような話もあり、そういった非常に活発な活動がなされているところもございます。

それでは、図書館・公民館活動を一つの大きな柱としまして、それともう一つは、やはり子どもの育成ということで、教育長の話にも、議論の中でも再三出てきた「放課後プラン」、そしてバンビーホーム、これを学校教育と社会教育の間をつなぐものという切り口で、一つの大きな柱としたもの。

また、先ほどの委員のご意見から言うと、条件整備というカテゴリーでの図書館活動と人作りの部分、そして文化活動・スポーツとしては、これまでしたものとの関連を、反省しながら見守っていくという仕分けでよろしいでしょうか。

それでは、この方向に沿ってご意見をいただくフォームを Fax 等で送りますので、皆さんからご意見をお寄せいただき、改めて方向性をまとめてから、またお集りいただいて議論を進めていくという形をお願いしたいと思います。

事務局の方から何かございますか。

事務局 特にございません。

会議長 それでは、これをもちまして平成二十四年度第一回奈良市社会教育委員会議事を終わらせていただきます。

◎ 閉 会